南山っ子通信

長崎南山小学校
学校生活だより
令和元年５月号
担当（山田）
NO.79

5月はマリア様の月

野に色とりどりの花々が咲き乱れ，山々に若葉が鮮やかに生い茂る５月，自然界が最も美しく希望に満ち溢れるこの月をカトリック教会では，聖母月として，イエス様のお母様であるマリア様に賛美と感謝を捧げる月としています。

南山小学校の5月は運動会の練習に忙しい毎日が続きますが，今年度も，１時間目の始業の前に全校児童が聖堂に集まり，みんなでマリア様を讃え，その取次ぎを願ってロザリオの祈りを唱えてきました。慌ただしさの中であっても，また慌ただしい時だからこそ，マリア様にいつも見守られていることに感謝し祈りを捧げることの大切さをカトリック校として，これからも忘れないようにしていきたいと思います。

カトリック教会やカトリックの学校・幼稚園などでは，聖母月の５月や特別な聖母の祝日に，マリア様を讃えるための行列を行うことが多くあります。

聖母行列では，たいていの場合，十字架の後に司祭や侍者が先頭を歩き，その後に続いて信徒や子どもたちが歩きます。先頭の司祭・侍者等のすぐ後には，聖母像を戴いた御輿が信徒たちによって担がれます。行列の間は，ロザリオを唱えたり，聖母に捧げる聖歌を歌ったりします。また，マリア様を讃えるために，女の子たちによって聖母像に花びらが撒かれたりします。

今年度の聖母行列は，「聖母に祈ろう，世界の平和」のテーマを掲げて，昨日の宗教の集いの中で行われました。

「世界の中には平和とはいえない国々も多くあります。平和のために祈りましょう。」

聖母行列の終わりにホー神父様が話されたように，世界中の人々がマリア様に見守られて平和に過ごすことができるように，これからもロザリオの祈りを大切にしていきたいと思います。

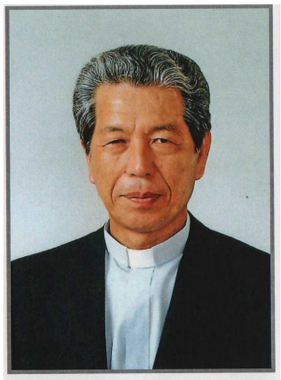
大恩人，川上進神父様

３０年余り続いた平成の時代が終わり，新しい令和の時代を迎えました。５月の初め，連日のように報道された時代の移り変わりに正月とはまた違った意味で気持ちを新たにされた方も多かったことと思います。

南山第二学園の創立者ウイゼン神父様が理事長を退かれ，川上進神父様が２代目の理事長として活躍を始められた頃も時代の大きな転換期だったように思います。

長与町や時津町，小江原，畝刈方面からの通園児通学児が増えていったことから川上神父様は思い切ってスクールバスを導入されました。それに伴い正門から運動場までの通路も大がかりな工事を行い，キリンのマークの正門にするなど園児や小学生が喜ぶようなアイデアも次々に実現していかれました。

小学校の教育を任されていた扶助者聖母会のシスター方が引き揚げられ，校長職が一般の教職員に変わったのも川上神父様の時代でした。新しい校長先生が学校経営をしやすくするためにということで，川上神父様は小学校の教育現場に立ち入ることをあえて避けておられました。しかし，経営や募集の専門家を招いて研修を行うなど，陰から大きな力となって南山小学校を支えてくださっていました。



その川上神父様が重いご病気で危ないという知らせを受けて，慌ててお見舞いに行ったのは亡くなる６日前のことでした。お疲れにならないように5分程度のお見舞いを予定していたのに，神父様は次から次へと30分近くもお話をしてくださいました。お見舞いに行った先生たち一人ひとりの家族のこと，当時のエピソードなどジョークを交えながらの話に，そんなことまでよく覚えておられるなと感心もし，職員の一人ひとりに気を配ってくださっていたことにホントに有難い気持ちになりました。神父様は，病室を後にする私たちに，

「これでサヨナラするつもりはないからね。」

と最後の言葉をかけられました。

４月２１日の日曜日，ちょうど復活祭の日の朝亡くなられた神父様を思う時，「私は天国で一足先に主の復活を祝っているよ，いつの日か天国でまた会いましょう。だから，サヨナラではないんだよ。」と語りかけているように思えてなりません。川上進神父様が南山第二学園に残してくださった数々の功績に感謝するとともに，心からご冥福を祈りたいと思います。

♧♧ 教室紹介 ♧♧

６年１組　担任　小泉美佳先生

「魅せろ，６の１最強魂！」

今年度の運動会のかっこいいスローガンに似ていますが，これは，６年１組の学級目標から考えられたものです。後半のものすごい追い上げも一歩及ばず，運動会では惜しくも負けてしまって悔し涙を流した６年１組の子どもたちでした。この悔し涙は，それだけ一生懸命に競技したことの証でもありました。また，最後まで諦めないで頑張り切ったことの証でもありました。

何事にも一生懸命に取り組む６年１組ですが，特に，大きな声で朝の挨拶ができる子が多いのはクラスの長所の１つであり，全校のよいお手本となってくれているところです。

４月に入学した１年生のお世話もとても上手にできます。学校のいろいろな決まりを１年生に教えてあげることを通して，自分自身を見つめ直すよい機会にもしています。

学級目標にある「魂」は，「心，精神，物事を成し遂げようとする力」という意味です。学校生活の中で，優しさや正しいと思ったら恐れずに立ち向かっていく勇気を魅せつけて，下級生や先生方に信頼される６年生になって欲しいと小泉先生は願っています。

♪ 五月はマリアさまの月

1．５月は マリアさまの月
ひともと かおる 白ゆりの
きよい心の マリアさま

2．天にします 神さまに
おん取り次ぎを 願います
きよい心の マリアさま